

広報ふたば



【表紙写真】 友好の絆を深めて
(涼丹波町・双葉町子ども交流事業)



町民の皆さまへ

9月に入ってもなお、日中は暑い日が続いておりますが、朝晩は幾分過ごしやすくなりました。

特定復興再生拠点区域の避難指示解除から2年が経過し、町内の様子も目に見える形で変わってきております。中野地区復興産業拠点への企業立地をはじめ、駅東地区の商業施設や双葉町内での学校再開に向けた取り組みなど、新しいまちづくりをさらに前進させるため、引き続き職員一同全力で業務に取り組んでまいります。

8月3日から5日まで、友好町である京都府京丹波町の子どもたちと町立中学校生徒との交流事業に同行しました。京丹波町の伝統芸能体験や、京都市内での研修を通じて、古都京都ならではの歴史や文化に触れ、実りある有意義な事業となりました。今後も、京丹波町との交流を続けてまいります。

8月9日、東日本大震災・原子力災害伝承館館長の長崎大学高村昇教授にご案内いた

だき「被爆79周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参加しました。原子爆弾によって大きな被害を受けた長崎市は、被爆の悲惨さを忘れず、後世に語り伝える世界恒久平和を念願する日として、毎年8月9日を「ながさき平和の日」と定めています。これまで、テレビで式典の様子を拝見していましたが、今回は貴重な機会をいただき、平和公園の会場で参加者の皆さまとともに世界平和を祈りました。

7月26日から始まったパリオリンピックは17日間の日程を終え、8月11日に閉会式が行われました。バドミントン混合ダブルスに出場した富岡高校卒業生の渡辺勇大選手と東野有紗選手は、見事銅メダルを獲得、その雄姿は、見る人に勇気と感動を与えてくれたと思います。

秋とはいえ、日中は連日の残暑です。夏の疲れも出る時期でございますので、町民の皆さまにはお身体に気を付けてお過ごしください。よろしくお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

大熊町との合同要望

7月30日、伊澤町長は、伊藤哲雄町会議長とともに、復興庁、経済産業省、環境省、自由民主党東日本大震災復興加速化本部に対し大熊町と合同で、31日は公明党東日本大震災復興加速化本部に対し要望活動を行いました。

双葉町の復興は、これから本格化することから、第2期復興・創生期間以降も必要な予算規模を確保し、十分かつきめ細かい支援を行うよう強く要望しました。

主な要望項目と要望先は以下のとおりです。

- ① 特定帰還居住区域における除染等の実施について
【復興庁、経産省、環境省、自由民主党・公明党東日本大震災復興加速化本部】
- ② 第2期復興・創生期間以降の財源確保
【復興庁、経産省、自由民主党・公明党東日本大震災復興加速化本部】
- ③ ALPS処理水の確実で透明性のあるモニタリング
【経産省、環境省】
- ④ 帰還者向けの住宅支援策の拡充
【復興庁、自由民主党・公明党東日本大震災復興加速化本部】
- ⑤ 除染土壌の県外最終処分に向けた取組の実施
【環境省】



復興庁



環境省



自由民主党東日本大震災復興加速化本部

原子力損害賠償紛争審査会による現地視察

7月23日、原子力損害賠償紛争審査会の内田貴会長ほか委員7人による双葉町内の現地視察が行われ、文部科学省や福島県の職員も視察に同行しました。

委員の皆さんは、伊澤町長の案内で特定帰還居住区域の下長塚地区を訪れ、先行除染や家屋解体の様子を視察しました。続いてJR双葉駅前ロータリーから駅周辺を歩き、新しいまちづくりへの取り組みについて、伊澤町長が説明しました。

視察終了後、双葉町役場で意見交換を行い、冒頭に伊澤町長と伊藤町会議長から、内田会長に要望書を手渡しました。

町からは、①避難費用及び日常生活阻害慰謝料の期間の見直し ②原子力損害賠償紛争解決センター和解事例の指針への確実な反映 ③避難指示区域内の営業損害及び就労不能損害の賠償の実施 について強く要望しました。



長崎平和祈念式典

8月9日、伊澤町長は長崎県長崎市の平和公園内平和祈念像前広場にて開催された「被爆79周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に大熊町の吉田淳町長とともに参列しました。

式典終了後、長崎大学を表敬訪問し、永安武学長、高村昇教授と会談しました。

長崎大学と双葉町は、令和3年12月に放射能に関する知識や情報の共有、健康影響への不安解消へつなげる施策などに連携して取り組むことを目的とした包括連携協定を締結しました。健康福祉課内に「長崎大学・双葉町復興推進拠点」を設置し、専門家が常駐し被ばく線量の評価や、住民の健康相談などを行っています。

伊澤町長は、改めて取り組みへの協力に対し感謝の言葉を述べました。



教育先進地視察

7月18日、伊澤町長は、森隆史副町長、館下明夫教育長、木村直人教育政策アドバイザー（F-REI）、高瀬智美地方教育アドバイザー（文部科学省）、双葉町学校設置検討委員会の大塚類委員長、柗木涉委員、江井俊雄委員とともに、町立学校再開に向けて兵庫県神戸市の関西国際学園を視察しました。

関西国際学園は日本語と英語で授業を行い、日本人としてのアイデンティティーを確立しながら、国際的な視野を持つ人間の育成を目指し、日本人と多様な国籍の子どもが通うインターナショナルスクールです。施設や授業を見学した後、中村久美子学園長と意見交換を行いました。

町内で再開する学校の基本構想では、「英語教育と国際理解教育を基盤とするグローバルな人材の育成」を「目指す学び」のひとつとしています。



令和6年度 町政懇談会開催のお知らせ

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から13年5カ月が過ぎました。いまだ多くの町民の皆さまが避難先での生活を継続され、一方町内に帰還・移住された皆さまもさまざまな不便や不安を感じておられることと存じます。

このような中、双葉町では、町の復旧・復興と町民の皆さまの生活再建、町内の環境整備などの課題に全力で取り組んでいるところです。

つきましては、町政全般について、町民の皆さまの率直なご意見やご要望等をお伺いし、今後のまちづくりに反映いたしたく、下記のとおり町政懇談会の開催を予定しておりますので、お近くの会場にご出席くださいますようお願いいたします。

月 日	時 間	場 所	
10月 8日(火)	9:00～11:00	双葉町	双葉町役場 2階大会議室2 (議場) 双葉町大字長塚字町西73番地4 ☎0240-33-0125 (秘書広報課)
	14:00～16:00	いわき市	いわき市労働福祉会館 3階 大会議室1 いわき市平字堂ノ前22 ☎0246-24-2511 ※専用駐車場(16台)のほか、童子町駐車場(82台)もご利用いただけます。
10月 9日(水)	9:00～11:00	茨城県 つくば市	つくば国際会議場 4階 小会議室405 茨城県つくば市竹園2丁目20-3 ☎029-861-0001 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。
	14:00～16:00	埼玉県 加須市	キャッスルきさい 1階 多目的室 埼玉県加須市根古屋633番地10 ☎0480-73-3101
10月10日(木)	10:00～12:00	東京都	全国町村会館 ホールB 東京都千代田区永田町1-11-35 ☎03-3581-6767 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。
10月16日(水)	13:30～15:30	白河市	サンフレッシュ白河 1階 会議研修室 白河市久田野城内31 ☎0248-31-1019
10月17日(木)	10:00～12:00	郡山市	福島県農業総合センター 1階 大会議室 郡山市日和田町高倉字下中道116番地 ☎024-958-1700
10月18日(金)	10:00～12:00	新潟県 柏崎市	柏崎市産業文化会館 2階 第2会議室 新潟県柏崎市駅前2-2-45 ☎0257-24-7633
10月22日(火)	14:00～16:00	いわき市	復興公営住宅勿来酒井団地 集会所 いわき市勿来町酒井青柳8-2 ☎0240-33-0125 (秘書広報課)
10月23日(水)	13:30～15:30	福島市	サンライフ福島 2階 大研修室 福島市北矢野目字檀ノ腰6番地の16 ☎024-553-5529
10月24日(木)	10:00～12:00	宮城県 仙台市	TKP ガーデンシティPREMIUM 仙台西口 ホール6C 宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ ☎022-208-7515 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0240-33-0125

農地利用最適化推進委員の紹介

7月19日、双葉町役場において双葉町農地利用最適化推進委員委嘱状交付式が行われました。5人の委員の皆さんに対し、町農業委員会の澤上榮会長から委嘱状が手渡されました。

農地利用最適化推進委員は、農業委員とは別に農地等の利用の最適化を積極的に推進するため、担当する区域の現場活動を行います。推進委員の任期は令和9年7月7日までです。



中野 守雄 委員



渡辺 浩美 委員



高玉 正祐 委員



榎内 宏 委員



新川 敏浩 委員

双葉町学校設置検討委員会

8月7日、双葉町いわき支所において令和6年度第2回双葉町学校設置検討委員会が開催されました。委員会に先立ち、館下明夫教育長が山本葵さんに地域社会関係者として新たに委嘱状を交付しました。山本さんは、震災当時双葉中学校3年生に在籍しており、「町に活気が戻り、子どもたちが通う学校の議論に積極的に参加したい」とあいさつしました。

7人の委員と木村直人教育政策アドバイザー（F-REI）と高瀬智美地方教育アドバイザー（文部科学省）も出席し、前回に引き続き町内で再開する学校施設の構成や配置計画について議論が交わされました。



地方教育アドバイザー
文部科学省 高瀬智美さん

双葉町学校設置検討委員会の新委員

氏名：山本 葵（地域社会関係者）

役職：委員 任期：令和6年8月7日から令和7年3月31日まで



模型を使い敷地内の配置を検討

重要

応急仮設住宅並びに県内外借上げ住宅の 供与期間に関するお知らせ

福島県は、町内の住宅環境を始めとする生活環境の整備状況を踏まえて、応急仮設住宅並びに県内外借上げ住宅の供与期間を令和8年3月末までの1年間延長した上で、供与を終了することを決定しました。

なお、応急仮設住宅（建設型）においては、住宅の安全性の観点などから供与期間終了前であっても入居者の状況などを踏まえながら、供与終了を県と町で協議していきます。

詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

（供与期間について）

福島県被災者のくらし再建相談ダイヤル

☎ 0120-303-059 受付時間：月曜日～金曜日 9時～17時（祝日、年末年始を除く）

（応急仮設住宅・借上げ住宅等の事務手続きについて）

住民生活課 生活支援・賠償対策係

郡山支所 ☎ 024-973-8090（代）

いわき支所 ☎ 0246-84-5200（代）

ふたば盆踊り

8月10日、復興公営住宅勿来酒井団地で、夢ふたば人（中谷祥久会長）の主催による「ふたば盆踊り」が開催されました。

会場には、夢ふたば人や商工会青年部などによる出店が並び、櫓^{やぐら}では夢ふたば人による唄と笛や太鼓の演奏が行われました。町民や地元いわき市の住民も多く訪れ、相馬盆唄にあわせて輪になって踊りました。

このほか、各地で自治会による盆踊りが行われました。



8月10日 夢ふたば人「ふたば盆おどり」



7月27日 双葉町埼玉自治会盆踊り



8月17日 双葉町県南双樹会盆踊り

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

2学期がスタートして1週間。まだ連日のように猛暑日と雷雨、そしてゲリラ豪雨のニュースが報道されておりますが、皆さまの地域の安全や体調管理は大丈夫でしょうか。天気予報を毎日確認しながら、大雨洪水警報や土砂災害警戒警報への迅速な対応のためにも、「地域ハザードマップ」を確認しながら防災意識の高まりをご家庭の中で築き上げ「命を守る行動」を一人一人が理解し取り組めるよう話し合っていたいただきたいと思います。学校生活においては、熱中症対策をはじめ、感染症予防対策を継続的に進めてまいります。ご家庭におきましても、共通認識をもち声をかけ合い予防対策に取り組みながら生活することが大切です。2学期は、校内行事を含め対外的な行事も多く計画されています。学習面はもちろん、主体性をもって多くのイベントにチャレンジ精神で取り組んでほしいと思います。

● 第7回 小学校絆づくり交流会

7月29日、双葉郡の小学生が一堂に会しての交流事業が、学び舎ゆめの森（大熊町）で開催されました。児童はそれぞれグループに分かれて、ボランティアの中学生スタッフの皆さんが中心になり工夫されたイベントに楽しく取り組んでいました。



● 第9回 中高生交流会 FUTABA 1DAY SCHOOL

8月1日、ふたば未来学園（広野町）で、双葉郡の中・高校生約360人が参加し、フリーアナウンサーの古館伊知郎さんなど各分野の著名人8人を講師に招き、中高生交流会が開催されました。生徒は6つのグループに分かれ選んだテーマに沿った交流・体験を深めることができ、たいへん有意義な一日となりました。

● 京丹波町・双葉町子ども交流事業

8月3日から5日まで、双葉町からの生徒派遣事業を震災後初めて実施しました。京丹波町の畠中源一町長や松本和久教育長と16人の京丹波町の中学生、高校生の歓迎を受けて、思い出に残る交流体験が実現できました。交流会の様子は特集記事をご覧ください、改めて双葉町と京丹波町のつながりについて、双葉町合併70周年記念誌より抜粋して述べたいと思います。

今から54年前にさかのぼります。大阪万博で日本電信電話公社（現NTT）が企画したテレビ対談「あなたの町、わたしの町」に、当時の瑞穂町長と双葉町長が出演したことで交流が始まりました。平成6年、県立双葉高校野球部が夏の甲子園に出場した際、瑞穂町長らが応援に駆けつけ24年間の友好関係を一層、深めるため姉妹町を締結しました。農業青年後継者の交流や行政視察、両町の小中学生が1年おきに相互訪問する「姉妹町子ども交流会」などで絆は固くなっていきました。その後、瑞穂町、丹波町、和知町が合併し「京丹波町」となり、平成18年、京丹波町は旧瑞穂町の意志を引き継ぎ、双葉町と友好町を提携しました。

東日本大震災の際は、いち早く川俣町の避難所や埼玉県旧騎西高校へ物心両面にわたり支援をいただき、さらに社会教育委員の発案で「双葉の折鶴支援プロジェクト」が始まり、3年間、折り紙で折った千羽鶴と支援金を届けていただきました。その後も京丹波町の町民の皆さんが双葉町を訪問したり、子ども交流会で中・高校生がいわき市の復興住宅や相馬野馬追祭を見学するなど交流、支援が続いていました。コロナ禍により開催できない年もありましたが、ようやく双葉町の生徒を京丹波町に派遣したいという願いが叶いました。

京丹波町とは、今後も交流事業を継続することを約束してまいりました。

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫

双葉町行政区長会「夏期研修会」

7月22日、双葉町・大熊町にまたがる中間貯蔵施設を見学しました。見学に先立ち双葉町産業交流センター会議室をお借りして、区長会を開催し各行政区の現況・これからの課題について、意見交換を行いました。

なかでも最近、太陽光発電の事業者が一部行政区の宅地などの土地を求めており、地区内の今後の土地利用計画・景観などに悪影響を及ぼす恐れがあるという話題が出ました。しかしながら個々の財産を束縛することもできず、景観条例などで対応してほしいとの意見もあり、今後町と話し合いを進めていきたいと思えます。

区長会終了後、中間貯蔵施設工事情報センターにて映像やパネルで説明を受け、中間貯蔵施設内の道路盛土実証事業クリーンセンターふたば、土壌貯蔵施設などを見学してまいりました。当会では6年前にも見学に訪れていますが、施設内の森林が減少、数多くの土壌貯蔵施設がきれいに整備され、当時とは様変わりしております。県外最終処分まであと21年、今年度末には最終処分に係る全工程が示されると聞いております。町の復興の妨げにならないよう国と環境省には、約束どおり2045年には除去土壌等の最終処分を厳守していただきたいと思えます。

行政区長会長 箭内 充
事務局 作本 信一



双葉町清戸迫横穴保存活用計画策定委員会 委嘱状交付式

8月9日、双葉町いわき支所において令和6年度第1回双葉町清戸迫横穴保存活用計画策定委員会が開催されました。委員会に先立ち、委嘱状交付式が行われ、館下明夫教育長が委員一人一人に委嘱状を交付しました。

委員は、学識経験者、地域社会関係者等の8人で構成され、指導機関として文化庁史跡部門調査官、県文化財課文化財担当職員などが参加し、清戸迫横穴の保存活用計画の取りまとめを目指します。

第1回目の今回は、委員長に西浦忠輝さん、副委員長に朽津信明さんを選出し、策定する計画の内容やスケジュール等について協議を行いました。



双葉町清戸迫横穴保存活用計画策定委員名簿（令和6年8月9日から令和8年3月31日まで）

役職	氏名	備考
委員長	西浦 忠輝	文化財保存支援機構 副理事長 国土舘大学 21世紀アジア学部 特別研究員
副委員長	朽津 信明	東京文化財研究所 保存科学研究センター 修復研究室長
委員	田中 裕	茨城大学人文社会科学部 教授
委員	玉川 一郎	福島県考古学会 顧問
委員	朝川 美幸	宗教法人 仁和寺 学芸員
委員	鈴木 功	白河市建設部文化財課 専門文化財研究員
委員	木幡 敏郎	双葉町文化財調査委員会 委員長
委員	江井 俊雄	新山行政区長

双葉町文化財調査委員会

7月23日、双葉町郡山支所において令和6年度第2回双葉町文化財調査委員会を開催しました。町内に設置されている文化財の案内板及び標柱の現地調査や、他市町村の博物館施設見学会の計画について協議しました。



議 題	委員からの意見
文化財案内板及び標柱の現地調査について	長塚・新山・羽鳥・両竹などにある14カ所を現地調査し、修復について検討する。
他市町村博物館施設見学会について	白河市の県文化財センター白河館（まほろん）を視察し、町で寄託している歴史民俗資料館の資料の現状を確認する。

【問い合わせ先】 生涯学習課 ☎0240-33-0206

2000年（平成12年）双葉中学校卒業生同窓会開催のご案内

開催日 11月23日（土）

時 間 13時から15時

場 所 郡山ビューホテル本館 5階プリエール
郡山市中町3-1
☎024-924-1111

参加申込 参加される方は、下記のいずれかでお申し込みください。

- ① LINEで右記のQRコードを読み取り、グループLINEにご参加の上、参加意思をお知らせください。
- ② 幹事事務局へメールで申し込み ➡ メールアドレス w.futaba2000@gmail.com
- ③ 幹事 志賀へ直接電話で申し込み ➡ 携帯 080-1847-2105



申込締切 10月15日（火）

幹 事 小林直樹、稲垣勇太、阿部政輝、天野志保、杉本光潤、岡田浩行、志賀大輔

参加費 男性 10,000円 女性 8,500円
申し込み後、指定口座に事前振込
※宿泊は各自手配
※振込方法・期日は申し込み後に別途案内

対象者 1984年4月～1985年3月生まれで双葉中に在籍していた方です。ご親族やお知り合いに対象者がいらっしゃいましたらお伝えください。

9月は「健康増進普及月間」です

福島県は、他の都道府県と比べて生活習慣病で亡くなる方が多い傾向にあります。

メタボリックシンドロームの割合は全国ワースト4位、食塩摂取量はワースト2位、喫煙率は男性ワースト1位、女性ワースト2位となっています。

県では「みんなでチャレンジ！減塩・禁煙・脱肥満」をスローガンに、健康に関するさまざまな取り組みを行っています。

皆さんも、この機会にご自身の健康や生活習慣について振り返ったり、できることから始めてみましょう。

例えば

運動	: 1日の運動時間をプラス10分
生活リズム	: 寝る時間をいつもより早める
食生活	: うま味を使って塩分を控えめにする
タバコ	: 禁煙にチャレンジしてみる



など…

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

京丹波町・双葉町子ども交流事業

8月3日から5日、双葉中学校の代表生徒9人と館下明夫教育長、双葉中学校の新田勇雄校長、山本真理子教育長職務代理者、江井俊雄社会教育委員の会議議長と町立学校ALTなどが友好町である京都府京丹波町を訪問しました。

京丹波町では、昨年双葉町を訪問した8人の生徒を含む中学生7人、高校生9人とともに体験・交流事業などを行い、お互いの友好の絆を深めることができました。

8月3日

早朝いわき市を出発し、新幹線と特急を乗り継ぎ、正午過ぎに京丹波町に着きました。

京丹波町役場で開会式を行い、京丹波町の畠中源一町長、松本和久教育長から温かい歓迎のことばをいただき全員で記念撮影をした後、生徒と畠中町長との懇談が行われました。京丹波町でおすすめの場所やイベント、美味しい食べものなどについて丁寧に答えていただきました。

また、町内産木材を建物の柱、内装に使用した京丹波町役場の庁舎と旧質美小学校（廃校になった小学校の校舎を活用した施設）を見学しました。



旧質美小学校内の「絵本やさん」

8月4日

2日目は、昨年双葉町を訪問した生徒8人を含む16人の京丹波町の中学生、高校生との交流が行われました。午前中は和知ふれあいセンターで、京丹波町の伝統文化「和知人形浄瑠璃」（京都府指定無形民俗文化財に指定されています）と「和知太鼓」体験、和知中学校生徒による上演を見てから体験を行いました。堀本泰成さん（双葉中3）は「初めて人形を操って、思ったよりも重かった」と感想を述べました。

午後は、須知高校でさけるチーズ作りに挑戦し、作ったチーズを使いピザを焼いて食べました。

生徒たちは1年ぶりの再会でしたが、お互いに名前を呼びあい楽しく話をする様子も見られました。夜は研修センターあかまつに宿泊し、バーベキューをしてさらに交流を深めました。



8月5日

3日目は朝食を終えるとすぐに解散式を行いました。京丹波町の生徒を代表し石川優雅さん(須知高2)から「今年も楽しく交流することができて良かった。京丹波町の思い出を双葉町に持って帰ってくれたら嬉しいです」とお別れの言葉をいただきました。

京丹波町から京都市内への移動は、トロッコ列車に乗り溪谷の風景を楽しみ、市内の仁和寺と金閣寺を見学しました。仁和寺では、双葉町出身で仁和寺の学芸員を務める朝川美幸さんに案内していただきました。



仁和寺学芸員の朝川美幸さん(真ん中)



発表・交流

8月4日、伊澤史朗町長は、森隆史副町長とともに京丹波町を訪問し、須知高校での体験交流事業を見学した後、京丹波町役場で行われた発表交流に出席しました。

発表交流には、畠中町長、松本教育長も参加し、生徒がそれぞれの学校紹介と事業参加への思いを述べ、お互いに質問しあいました。昨年参加した京丹波町の生徒は、福島県や双葉町に関心を持つようになり、復興のためにできることはないか考えるようになったと話しました。



生徒たちはお互いの発表を真剣に聞き、最後に記念品を贈りあいました。

今後も、両町は交流事業を継続していきます。

みんなで歩む… ふるさとふたばの未来

「ふたばワールド2024 in ひろの」の開催について

皆さまの交流機会を創出するイベントとして、下記日程でふたばワールドの開催を予定しております。

日時 9月14日(土) 10時～15時

会場 ニツ沼総合公園 (広野町大字下北迫字大谷地原 65-3)

※イベント詳細については、同封しているチラシをご参照ください。

【問い合わせ先】ふたばワールド2024運営事務局((株)サードステージ内) ☎022-796-3039



HAMADOORI CIRCLE 2024

アート・カルチャー・アウトドアで浜通りのいま・これからを体感するイベントが下記2日間で開催されます。

9月28日(土) 10時～18時 浅野燃糸株式会社フタバスーパーゼロミル
(双葉町大字中野中野館ノ内1-1)

9月29日(日) 浜通りを巡る各種ツアーをご用意しております

※イベント詳細については、同封しているチラシをご参照ください。

【問い合わせ先】HAMADOORI CIRCLE PROJECT 事務局 ☎024-983-8398 (平日10時～17時)

FUTABA HANABI

HOPE from FUKUSHIMA

福島から世界へ花火が織りなす平和のシンフォニー「双葉花火」が、下記日程で開催されます。

日時

9月28日(土)

15時開場 / 18時花火打上げ

会場

東日本大震災・原子力災害伝承館 / 双葉町産業交流センター

※ 荒天中止



※イベント詳細については、同封しているチラシをご参照ください。

【問い合わせ先】福島煙火協会事務局((有)糸井火工内) ☎0248-65-2218

「ふーふーふー ふたばフードフェス2024」 開催のお知らせ

このたび、双葉町で初めての試みとなる「ふーふーふー ふたばフードフェス2024」を下記日程にて開催いたします。

「食」を通じて、町民や県内外からいらっしゃる皆さまとの交流の機会を提供し、町内のにぎわいを創出するとともに、移住・定住の促進や地域の魅力を発信すること、双葉町にかかわりをもつ人々が増加することを目的としています。

町内事業者はもちろんのこと、県内外のさまざまなジャンルの飲食ブースが出店する予定で、ステージイベントももりだくさんで実施します。

ぜひ会場にお越しください！

日時 10月5日(土)、6日(日) 10時～16時

会場 双葉町産業交流センターおよび周辺エリア

内容 ● 飲食および物販 30ブース程度を予定しています

- ステージイベント
 - ・ 地元郷土芸能
 - ・ キャラクターショー
 - ・ お笑いステージ など



@FU_FU_FU_FUTABA

※イベント詳細は、ふたばのわ9月15日号にチラシを同封する予定です。

※イベント専用のInstagramを開設しました。出店者や出演者などの情報を随時お知らせしますので、右のQRコードよりアクセスし、フォローをお願いします。

【問い合わせ先】 復興推進課 ☎ 0240-33-0127

双葉町立ふたば幼稚園旧園舎・双葉中学校旧校舎見学会の開催

双葉町では、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により使用できなくなった、ふたば幼稚園の旧園舎及び双葉中学校の旧校舎等の建物解体を予定しております。

つきましては、下記の日時において、解体前の旧園舎・旧校舎の見学会を実施し、広く皆さまに向けて一般公開いたします。



● **日時** 10月5日(土)、6日(日) 10時～15時

※見学にあたっては、校舎内に残されている個人情報保護を確認事項を遵守していただくため、誓約書を提出していただきます。

※当日は予約不要で見学会に参加できます。 ※詳細は町公式ホームページでご確認ください。↑



【問い合わせ先】 教育総務課 ☎ 0246-84-5210

備蓄できる食材を使った簡単レシピ

9月は防災月間です。近年災害が多く発生しておりますが、もしもの時のために備えていますか？
ただ空腹を満たすための食事では、栄養が偏りがち…。もしもの時でも食事バランスは大切です。

おくらとトマトのツナ和え

【栄養価】エネルギー：38kcal たんぱく質：4.7g
脂質：0.5g 炭水化物：4.7g 塩分：0.3g

【材料】

おくら …………… 30g (約4本)
ツナの水煮(缶) **【備蓄食品】** …… 23g (約1/3缶)
ミニトマト …………… 20g (2個)

〈調味料(混ぜ合わせておく)〉

(A) { めんつゆ(ストレート) …………… 小さじ1/2 (2.5g)
わさび練りチューブ …………… 1cm (約2.5g)

〈下処理〉

塩(板ずり用) …………… 5g (約小さじ1)

【栄養価除外】



作り方

- ① おくらのへたとがく(へたと実の境目にある張り出した部分)を包丁でむきとる。
- ② まな板の上に①を置き、塩をふってまな板に軽くこすりつけるように両手でこころと転がす(板ずり)。
- ③ 板ずりした塩を水で洗い流してから、斜め薄切りにする。
- ④ ミニトマトは、4つ切りに切る。
- ⑤ 袋に(A)を入れ混ぜ合わせ、切った③と④、ツナ(具のみ)を加えて和えたら完成。



- ❖ おくらの青臭さが気になる場合は、沸騰したお湯で1分半ほど茹でて冷水にさらし、水気を切ったものを使ってください。おくらをきゅうりに変更しても美味しく食べられます。
- ❖ ツナのうま味とわさびの辛みで、少しの塩分でも満足できる味付けになります。
- ❖ ツナ缶の汁は捨てずに、主菜や汁物など作るときに調味料として加えることで、うま味が加わりおいしく減塩できます。

日頃から美味しく食べながら、
「もしも」のときに食べるイメージをつけておきましょう！

- ① 節水・電気不使用の調理(耐熱袋調理など)に挑戦してみる。
- ② 缶詰や乾物を取り入れた簡単レシピのレパートリーを増やす。
- ③ 湯せんする、お湯を注ぐだけで食べられる食品などの備蓄も忘れずに！

双葉町の放射線に関する取り組みについて

双葉町では町民の皆さんの放射線への疑問・お悩みに対応できるように、さまざまな取り組みをしています。今回は、7月に実施した研修会について紹介します。

7月24日、町職員と一般社団法人ふたばプロジェクト職員等を対象とした研修会を開催しました。長崎大学の柏崎佑哉助教を講師に招き、午前は講義「双葉町の放射線と健康影響」、午後は講義「放射線リスク認知、リスクコミュニケーションによる住民支援」を行いました。午前の講義では、放射線に関する基礎知識や放射線による健康への影響、双葉町内を散策した際の個人被ばく線量についての説明がありました。午後の講義では、午前の講義のおさらいと住民の不安に対応する際のリスクコミュニケーション、リスク推定に関するバイアスについての説明がありました。

参加者からは「除染作業や廃炉作業が進んでおり、今回のような研修会で定期的に生の数値を教えてもらえると嬉しい」などの意見が出ました。

放射線に関する相談や不安等があれば健康福祉課健康づくり係へお気軽にご相談ください。

作成協力：放射線リスクコミュニケーション
相談員支援センター



研修会の様子

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

自殺予防のために行動しましょう

9月10日から16日は「自殺予防週間」です

全国の自殺者数は、例年2万人を超える水準で推移しています。また、近年では小中高生といった子どもの自殺が増加しており、令和5年には513人の子どもの尊い命が失われています。

特に18歳以下の自殺は、学校の長期休業明けにかけて増加する傾向にあることから、皆さんの周りの子ども達が何らかのSOSを出していないか、この機会に気にかけてみてください。

■ 自殺予防のための4つの行動

- <気づき> 家族や仲間の変化に気づいて声をかけること
- <傾聴> 本人の気持ちを尊重し、耳を傾けること
- <つなぎ> 早めに専門家に相談するように促すこと
- <見守り> 温かく寄り添いながら、じっくり見守ること

参考：厚生労働省HP

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

東京大学浜通りプロジェクト主催 「サマースクール」

8月8、9日の2日間、町立学校でサマースクールが行われました。昨年度の夏・冬に続き3回目の開催で、東京大学大学院教育学研究科 大塚類准教授と東京大学などの学生、大学院生、約30人が来校し、希望した小学生9人、中学生11人が参加しました。

はじめに子どもたちは各自学習の目標を決め、学生とレクリエーションや昼食作りを楽しみながら、学習に取り組みました。

また、「夢の学校」ワークショップとして、初日は校舎内をペアの学生と回りながら、勉強や遊びなどの学校生活（行動）と教室やそれ以外の場所（空間）の関係を考えました。2日目には行動・空間を変えてみるとどう感じるか考え、実際により良い空間を作ってみました。子どもたちの思いや願いは双葉町学校設置検討委員会でも報告されます。



▲ワークショップの作品



ふるさと双葉の歴史・文化

第6回 双葉町と戦争

戦争体験者の高齢化が進み、当時の様子を聞ける機会は年々減少し、戦争を知らない世代が増えています。今回は、資料をとおして双葉町と戦争について少し見てみましょう。

写真は「出征旗」と呼ばれる資料で、出征兵士を送り出す際に知人が寄せ書きしたものです。

写真の出征旗は、日本がアジアや太平洋の島々で戦闘を繰り広げていた当時、旧長塚村から出征した故須賀惣八さんに贈られたものです。須賀さんは、双葉中学校（現双葉高）在学中に陸軍少年飛行兵に志願しました。陸軍少年飛行兵とは、志願して軍の学校で戦闘機の操縦などを学ぶ十代の若者を指します。写真の出征旗の左下には双中同級生一同と書かれており、須賀さんの友人達によって作成されたことがわかります。内容を見ると、「双葉魂」や「俺の分も頼むぞ」という文言が確認でき、送り出す側の気持ちがよく表れています。須賀さんが実際に戦場に赴いたかは定かではありませんが、家族には戦争体験を一切語らなかったそうです。そこには、自身が体験した戦争の苦しさや込められていたのかもしれない。

旧長塚村・旧新山町（現双葉町）からも多くの人が兵士として出征しており、出征旗を贈る光景は各所で見られたと考えられます。須賀さんのように、出征兵士一人に対し多くの人々が無事や戦果を願って送り出していたことを私たちは忘れてはなりません。

戦争についての体験談、資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えてください。

※掲載はご家族から承諾を得ております。



◀ 出征旗（双葉町教育委員会所蔵）

ふたば幼稚園だより

ふたば幼稚園での日常の様子をお知らせします。

小学1年生の読み聞かせ

先日、小学1年生が学習の発表で「おおきなかぶ」の音読を披露してくれました。園児は途中で出てくる「うんとこしょ!どっこいしょ!」の掛け声に反応し、一緒になって声を出しました。登場人物が出てくるたびに、ニコニコしたり、驚いたりしながら楽しくお話を聞くことができました。音読の後は、登場人物になりきって、1年生が作った「おおきなかぶ」をみんなで「うんとこしょ!どっこいしょ!」と力を合わせて抜きました。園児が選んだ登場人物のねずみの鳴き声や動きなどを体いっばいに表現すると、とてもかわいらしい姿に、教室は温かい笑いに包まれ、楽しい時間となりました。



【問い合わせ先】 ふたば幼稚園 ☎ 0246-88-8084 **子育てサロン実施中です!**

双葉町結ぶ会 総会

7月27日、双葉町役場において令和6年度双葉町結ぶ会の総会が行われ、役員の変更や事業計画などについて話し合いが行われました。

結ぶ会では、大島遊亀慶さんと新たに双葉町出身の長谷川久三子さんが共同代表を務めることとなり、今年度も夏祭りなどさまざまなイベントを計画し、会員と避難している町民や町に関心を持っている方同士のつながりを「結ぶ」事業を実施する予定です。

終了後、駅西住宅集会所に移動し懇親会が開かれ、集まった皆さんでお茶を飲みながら交流しました。



総会



懇親会

ふくしまふるさとCM大賞

双葉町では毎年KFB福島放送主催の「ふくしまふるさとCM大賞」に作品を応募しています。

今年は、「双葉町、いいとこじゃん」をテーマに、双葉町の代表的なスポットを双葉ダルマさんが紹介します。産業交流センターで双葉町グルメを満喫し、買い物や駅西住宅の縁側で町民と談笑するなど、今の双葉町の楽しい雰囲気が伝わる内容です。

番組ホームページ (<https://kfb.co.jp/special/cm-award/>) から、双葉町のCM作品をご覧ください投票をお願いします。

投票期間は、9月22日(日)までです。



番組ホームページへの
アクセスはこちらから



【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎ 0240-33-0125

双葉町社会福祉協議会

～ 9月 健康運動教室・サロンのお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)	①毎週水曜日 ②毎週木曜日 のどちらか	13:30～15:00	郡山事務所 ☎024-973-5291
福島市老人福祉センター 1階多目的室 (福島市仁井田字八ツ割川原3)	9月10日(火)		
双葉町南相馬連絡所 2階大会議室 (南相馬市原町区青葉町2-62-2)	毎週水曜日 ※9/18を除く		南相馬出張所 ☎080-5730-1166

● 社協サロン

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
双葉町産業交流センター大会議室 (双葉町大字中野字高田1-1)	9月18日(水)	10:30～12:00	双葉町地域包括支援センター ☎0246-84-6729
白河市中心老人福祉センター会議室 (白河市北中川原313)	9月24日(火)	10:00～11:30	郡山事務所 ☎024-973-5291

消防署からのお知らせ

9月9日は、救急の日

救急の日とは、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に昭和57年に定められ、救急の日を含む1週間(日曜日から土曜日まで)を救急医療週間としています。万が一に備え、皆さんも救急車の正しい利用方法や応急手当について考えてみませんか。

救急車の要請で迷ったときは

急な病気やケガをしたときに救急車を呼ぼうかどうか、迷うことはありませんか？
突然の重い病気やひどいケガなど、緊急性が高いときは、すぐに救急車の要請が必要です。



- 緊急性の高い症状かどうか自分で判断できない。
- 救急車を呼ぶほどではないけど受診/相談したい。

そんなときは、#7119に電話すると受診や救急車要請に対して、24時間365日看護師から助言を受けることができます。判断に迷ったときにはぜひご利用ください。



応急手当を身に付けましょう

特別な資格がなくても、誰にでも行えるのが応急手当です。万が一に備えて、適切な応急手当を学び日頃から身につけておきましょう。

消防署では、個人・団体問わず応急手当講習を開催しております。
お気軽に近くの消防署にお問い合わせください。

火事と救急は119番 <消防署連絡先> ・浪江消防署 ☎0240-34-4111
・葛尾出張所 ☎0240-29-2119

双葉町相馬流れ山踊り保存会 練習会のお知らせ

双葉町相馬流れ山踊り保存会では、去る5月に開催されました相馬野馬追祭並びに双葉町騎馬隊による町内凱旋時に披露いたしました相馬流れ山踊りを一緒に踊っていただける方を募集しています。

つきましては、下記日程で練習会を開催いたしますので、参加を希望される方は下記までお申し込みください。

皆さんの参加をお待ちしています。



練習日程

月日	時間	場所
9月7日(土)	10時から	新山公民館(双葉町大字新山字北広町81番地)
9月21日(土)		
10月5日(土)	12時まで	双葉町役場 大会議室2
10月19日(土)		

参加資格 流れ山踊りに興味のある方ならどなたでも参加いただけます。

【問い合わせ及び申し込み】 生涯学習課 ☎0240-33-0206



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

働きたいネットの「ふくしまで働こう@企業説明会」

参加無料
服装自由

お仕事を探している人集合！福島県の企業が集結！

仕事の内容、職場環境など気軽に情報収集できます。お仕事相談や移住説明もあります！

- 日 時… 9月12日(木) 13:00～15:30
- 会 場… ビッグパレットふくしま(郡山市南二丁目52番地) ●出展ブース… 62ブース
- 参加方法… 電話、ホームページから予約。または当日参加。予約をおすすめしております。
- 参加特典… 応募書類キットのプレゼント
- 特別イベント… 移住説明については、9月11日(水) オンラインでも開催します！

◎詳細はホームページをご覧ください。



行くしかない！！働きたいネットの就職面接会

【参加無料・履歴書不要・服装自由】面接会は就職への近道。求人票には載っていない魅力が聞ける！

★応募書類キットのプレゼント

- 日 時… 9月27日(金) 13:30～15:00
- 会 場… linkる大熊(大熊町大川原字南平1207-1)
- 参加企業… 相双地域等の企業12社(企業の詳細はホームページをご覧ください)
- 参加方法… 電話、ホームページから予約。または当日参加。予約をおすすめしております。

◎詳細はホームページをご覧ください。



【問い合わせ先】 ホームページ [働きたいネット](#) で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口(福島市中町4番20号 エスケー中町ビル202号)

☎024-524-2121 FAX 024-524-2125



環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

● 特定帰還居住区域の被災家屋等の解体申請について

環境省では、双葉町の特定帰還居住区域（鴻草、渋川、長塚、寺沢、松倉、上羽鳥、下羽鳥、目迫、水沢、前田、新山、細谷、山田、松迫、石熊の各一部※）及びその周辺に位置する建物の解体の申請を受け付けています。解体を希望する場合は、下記の解体申請の受付窓口にご相談ください。

※所有建物の住所が区域範囲内か確認したい方は下記の受付窓口までお問い合わせください。

※環境省が除染した家屋等は環境省による解体の対象にはなりません。解体の意向がある場合は、解体前に除染工事を行わないでください。

※特定復興再生拠点区域の解体申請は2023年8月31日をもって締め切りました。

【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター（2024年度環境省業務受託業者）

<場 所> いわき市東田町2丁目19-3 トークビル1-A号棟（双葉町いわき支所の隣）
 <受付時間> 月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日及び年末年始を除く）
 <連絡先> ☎ 0120-773-275（フリーダイヤル）

片付けごみについて

● 特定帰還居住区域の片付けごみの個別回収について

双葉町における家屋について、家屋の片付けによって生じた片付けごみの個別回収を行っております。

【片付けごみ回収申込先】 双葉町片付けごみサポートセンター

<受付時間> 月曜日～金曜日 8:30～17:00（祝日及び年末年始を除く）
 （※FAXによる受付は24時間行っております。）

<連絡先> 株式会社 丸東（2024年度環境省業務受託業者）
 ☎ 0120-115-261（フリーダイヤル） FAX: 0120-115-271

※事業系廃棄物及びすでに避難指示解除された地域の片付けについては、片付けごみサポートセンターでは受け付けておりません。

中間貯蔵施設について

◇ 中間貯蔵施設見学会について

▶ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。

9月は、20日（金）、21日（土）を予定しています。

見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎ 0240-25-8377）までお願いします。（URL）https://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html



◇ 輸送について

中間貯蔵施設双葉工区への搬入状況は下記のとおりです。

2024年度は、これまでのところ双葉工区への除去土壌等の搬入は実施していません。

（2015年から2023年度末までの累計は3,923,266m³）※7月31日現在

▶ 9月18日（水）～9月23日（月）までの期間は、輸送を休止いたします。

◇ 放射線モニタリングについて

▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<https://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎ 024-563-1293

人のうごき7月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
廣畑 <small>ふうか</small> 風花	7月22日	康行・真里奈	下長塚

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
志賀 文子	99	7月6日	鴻草
竹原 天	89	7月10日	新山

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎0240-33-0125



双葉町民の避難状況 (令和6年8月1日現在)

- ・福島県内に避難されている方 3,808人
- ・福島県外に避難されている方 2,673人



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられたお便りの一部をご紹介します

【文芸】

俳句・出穂揃い 農家安堵の 案山子立て

雷が ころげて入梅の 明け近し

短歌・秋彼岸 おはぎ作って 墓参り 会いて嬉しい

ご先祖亡夫亡息子

・ 移り来て 土地に馴もう 思いつつ 何度も歩いた

あのだこの道

・ 道問いは 畑打つ農夫 手を休め そこを左と

尺棒でさす

今泉 禮子(長塚二)

広報ふたば令和6年8月号の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

スポーツ推進員表彰 (4ページ)

天野 錦二さん 行政区

誤 三字



正 新山

ハロウィンジャンボ5億円

(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ5千万円

(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

9月17日(火) 2種類同時発売!

発売期間 9/17(火)~10/17(木)

公益財団法人福島県市町村振興協会



広報紙の発送について

「広報ふたば」「ふたばのわ」は、1居所につき1部送付しています。ご家族が別々の場所に引っ越された場合や、同居することになった場合など、広報紙の発送に関することは下記までご連絡ください。

なお、「広報ふたば」「ふたばのわ」の発送先となっている方がお亡くなりになられた場合については、1カ月程度後に発送を中止いたしますが、ご家族の方に発送先を変更することも可能です。下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0240-33-0125

避難先を移動された方へ

避難先を移動された方は「避難住民届」を提出してください。

※移動先の届出がないと、町からの広報紙、各種通知などの郵便物が届かなくなりますのでご注意ください。

【問い合わせ先】

戸籍税務課 ☎0240-33-0132

今月のベストスマイル



8月9日、サマースクール2日目のお昼には、サンドイッチを作って食べました。小学校5年生と大学生の笑顔です。

編集後記

8月4日、交流事業に参加した京丹波町の生徒に、町のダキシメテフタバのハンドタオルを贈りました。昨年双葉町に来た生徒や職員が、その場で「持つてる！」とポケットから出して見せてくれました。「使いやすいから、ずっと使ってます」と言われ嬉しく思うとともに、夏の京都は、汗をよく吸うタオルが必需品だと実感した3日間でした。

9月、10月には花火や町民体育祭、フードフェスなど町内でさまざまなイベントの開催が予定されています。広報や同封のチラシ、町公式ホームページなどを確認し、町内へ足を運んでいただきたいと思います。来られなかった方は、広報紙や町公式YouTubeチャンネルの様子をお伝えしますのでご覧ください。



これまでのイベントの動画もあります

連絡先

- **双葉町役場 本庁舎**
〒979-1495
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
☎ 0240-33-2111
FAX 0240-33-2115
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp
- **いわき支所**
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ iwaki@town.futaba.fukushima.jp
- **郡山支所**
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp
- **埼玉支所**
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp
- **南相馬連絡所** (午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分)
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2
☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277
- **つくば連絡所** (月・火・水 午前9時～午後5時)
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟
☎/FAX 029-854-7511

○ **双葉町公式ホームページ**
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

○ **双葉町公式YouTubeチャンネル**
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

○ **双葉町産業交流センター公式ホームページ**
<https://www.f-bicc.jp/>

○ **双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」**
<https://futabanowa.wordpress.com/>

